

令和 4 年 9 月 9 日
大臣官房技術調査課

建設現場の生産性を向上する革新的技術を選定しました

～建設現場の生産性を飛躍的に向上するための
革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト～

「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」について、今年度現場で試行する技術として 23 件を選定しました。

国土交通省では、建設現場の生産性向上を目指す i-Construction と、統合イノベーション戦略（H30.6.15 閣議決定）を受け、「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を平成 30 年度より開始しました。

令和 4 年 6 月から下記の技術Ⅰ、技術Ⅱの公募を行い、「データ活用による建設現場の生産性向上ワーキンググループ」での審査を経て 23 件の技術を選定しました。

選定された技術については、各地方整備局等と委託契約を締結し、現場で試行を行う予定です。

なお、試行する技術の概要については後日、別途ホームページに掲載致します。

技術概要掲載予定箇所：https://www.mlit.go.jp/tec/tec_fr_000108.html

（公募対象技術）

技術Ⅰ：AI、IoT を始めとした新技術等を活用して土木又は建築工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

技術Ⅱ：データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

（選定技術内訳）

技術Ⅰ：応募 28 件のうち、15 件を選定しました。

技術Ⅱ：応募 10 件のうち、8 件を選定しました。

※「選定コンソーシアム一覧」については、別紙をご覧ください。

問い合わせ先

<技術Ⅰについて>

国土交通省大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官 藤浪（内：22353）

TEL：03-5253-8111 直通：03-5253-8221 FAX：03-5253-1536

<技術Ⅱについて>

国土交通省大臣官房技術調査課 工事監視官 荒井（内：22306）

TEL：03-5253-8111 直通：03-5253-8221 FAX：03-5253-1536

選定コンソーシアム一覧

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト

・技術Ⅱ：データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

コンソーシアム代表者	コンソーシアム構成員	試行工事名
大成ロテック株式会社	東京大学 株式会社エム・ソフト	R3国道6号住吉町電線共同溝工事
大成ロテック株式会社	大成建設株式会社 ソイルアンドロックエンジニアリング株式会社	令和3年度 1号島田金谷舗装工事
清水建設株式会社	株式会社AMDlab 株式会社三菱総合研究所	令和2年度 設楽ダム瀬戸設楽線トンネル工事
株式会社大林組	株式会社日南 東京大学	すさみ串本道路高富トンネル他工事
株式会社大林組	前田建設工業株式会社 フジミコンサルタント株式会社	令和3年度玉島笠岡道路干瓜川橋下部他工事
株式会社愛亀	株式会社環境風土テクノ 株式会社建設IoT研究所 宮城大学 北海道大学	令和3～4年度松二維持工事
株式会社西海建設	株式会社エル・エス・アイ 長崎大学 太洋技研株式会社	①長崎497号松浦3号跨道橋下部工外工事 ②主要地方道長崎南環状線道路改良工事(4号橋下部工P1・5号橋下部工P1)
五洋建設株式会社	大阪大学 株式会社ネクストスケープ	熊本57号笹原トンネル新設工事

コンソーシアム：長崎497号松浦3号跨道橋下部工外工事 他1件

試行場所：西海建設、エル・エス・アイ、長崎大学、太洋技研

画像（RGBカメラ、3D深度カメラ、ハイパースペクトルカメラ）、センサ（レーザ距離センサ、加速度センサ）による情報を一元統合、分析、可視化し、コンクリート打込みにおける品質確保と生産性向上を両立するシステム「IoTセンサーデータのリアルタイムデジタルツインによるコンクリート工事管理システム」を試行する。

